

©新rozエージェンシー・サンライズ



MG GEON MOBILE SUIT WASHI PRINCIPALITY OF Z



BANDAI 2023 MADE IN JAPAN

パッケージの写真・イラストと商品とは、多少異なりますのでご了承ください。

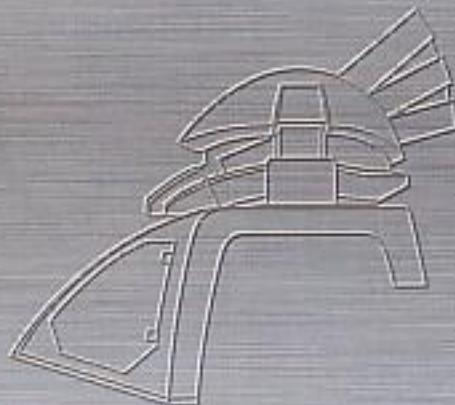




MOBILE SUIT
MS-14A

GELGOOG

PRINCIPALITY OF ZEON
ANAVEL GATO'S CUSTOMIZE MOBILE SUIT



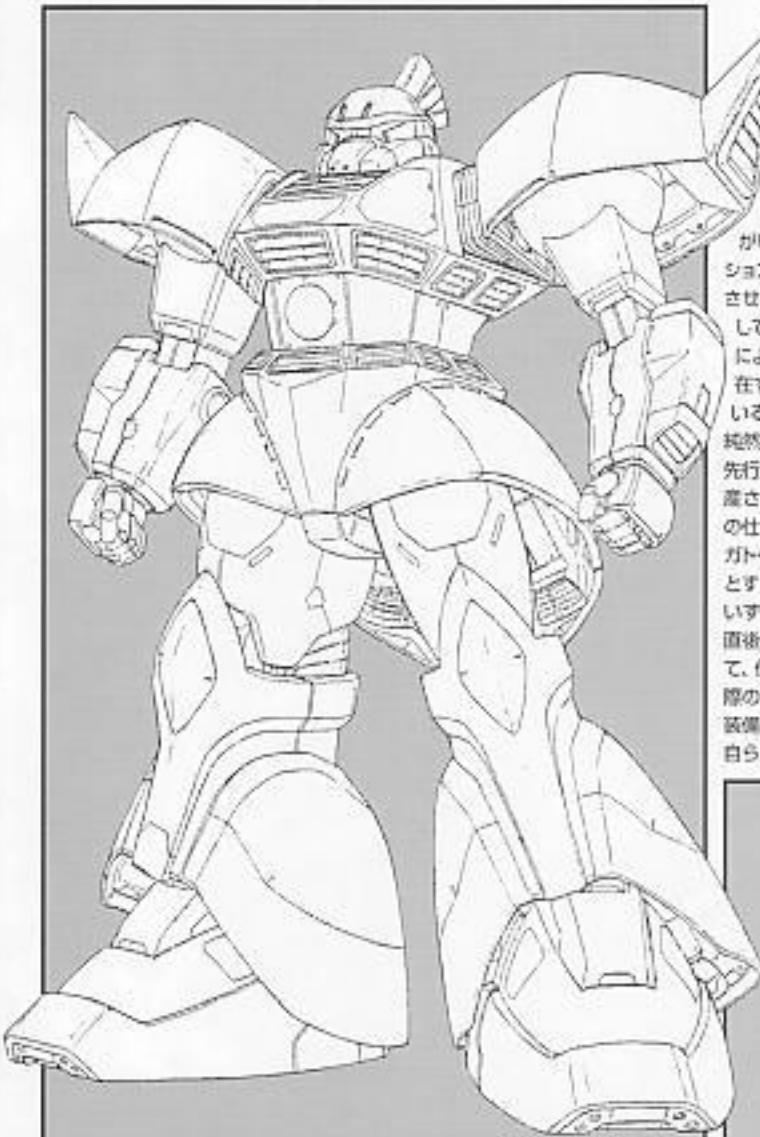
BANDAI 2003 MADE IN JAPAN

ジオン公国軍
汎用量産型モビルスーツ
MS-14A「ゲルググ(アナベル・ガトー専用機)」
1/100スケール
マスターグレードモデル

Scanned by Dalong.net

0116408



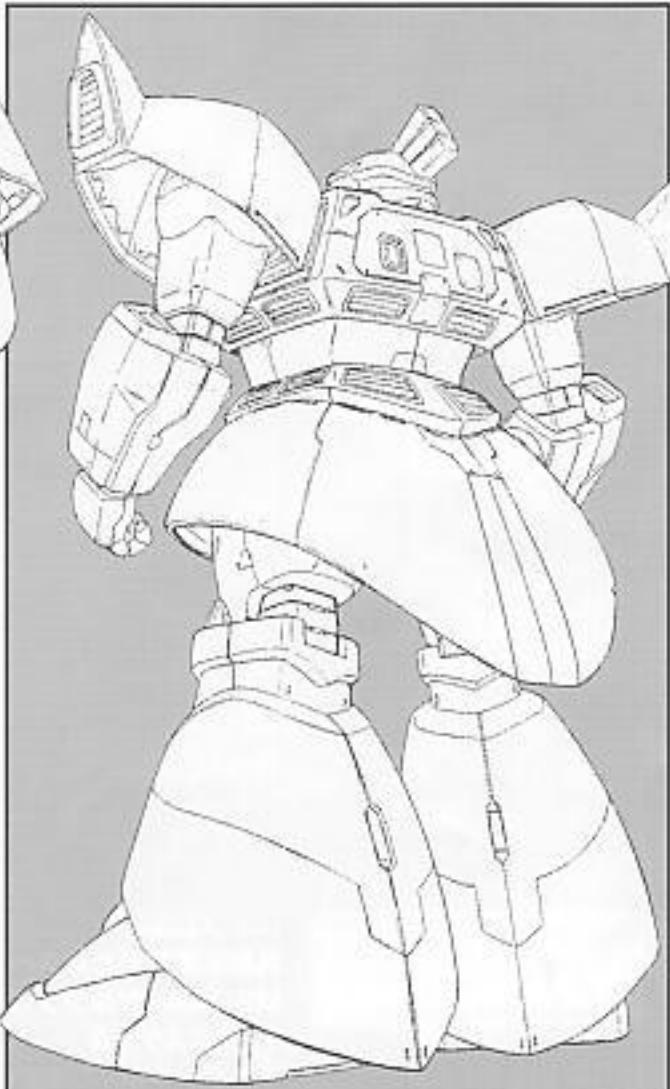


MS-14A GELGOOG

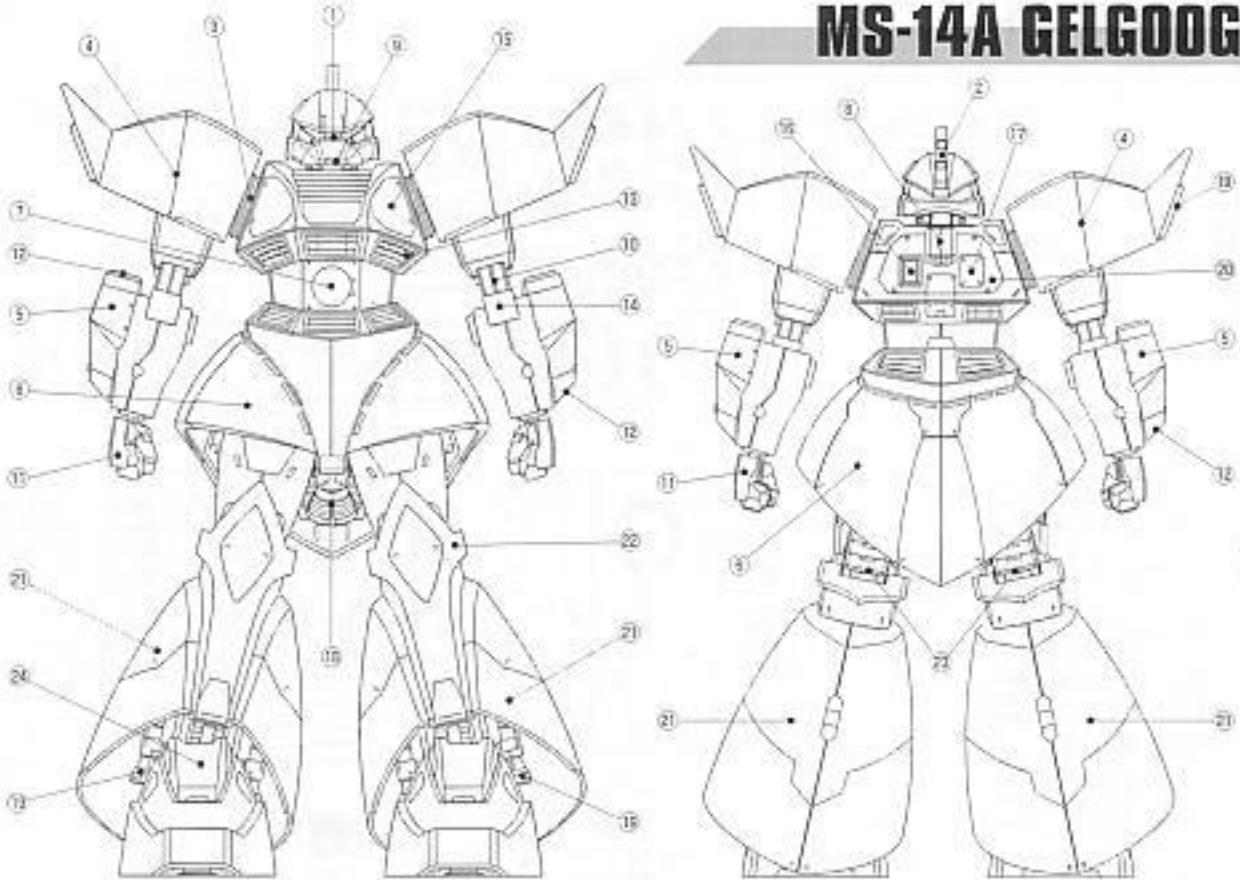
MS-14ゲルググは、ザクの後継機として、また公国軍における新たな標準機として開発されたMS（モビルスーツ）である。開発に当たっては、ビーム兵器の運用が前提とされ、対MS戦における高度な近接戦闘能力も求められていた。つまり、連邦軍の「ガンダム」に対抗することを想定した初めての機体であり、その結合性能は「ガンダム」をも凌駕しているとさえ言わされている。適性に配備されていれば、一年戦争の結果は違っていたはずとする説もあるが、そんな期待を抱かせるに足るコストパフォーマンスを達成していたことは事実である。ゲルググの誕生が選れた主な要因は、ビーム兵器の小型化が実現していたためであった。公国軍においてビーム兵器の搭載を前提とした發動兵器は、MA（モビルアーマー）の開発計画に統合されていたことも要因のひとつである。このような状況下にあって、ゲルググの先行量産型がロールアウトしたのはUC 0079年の10月に入ってからだが、ビーム兵器の生産ラインが実働し始めたのは11月下旬であった。この期間内にビーム兵器を装備できた機体は少なく、薦後策として、急遽、MA用のテバイスを転用したC型バックなども開発された。ともあれ、ゲルググの開発によって、公国軍は連邦軍と互角のMSを投入することが可能となった。各地のMS生産設備においては、その多くがMS-14の生産に充てられることがあらかじめ決定していたため、それらの工場では生産が可能なバーツから先行して生産が行われており、量産体制の確立は迅速に進んだ。ただし、この時期、MSの配備には公国軍首脳、特にザビ家の意向やそれぞれの政治力などが影響していたとされており、特に、ソロモンを拠点とするドズル・ザビ中将麾下の宇宙攻撃軍は、ゲルググはおろか

リック・ドムの調達さえおぼつかなかったと言われている。

MS-14ゲルググは、まず量産先行機として25機ほどが生産された。それらはYMS-14とも呼ばれ、06系の機体と同じように、いわゆる吉部隊のエースパイロットのもとに配備された。25機のうち1機はシャア・アズナブル大佐に、他の機体の多くはエース部隊に配備されたと言われている。そして、実戦データの収集が行われ、生産ラインにフィードバックされた。それに並行して、生産性と機能向上のための若干の設計変更と共に、機械上の水準には幅が設けられることになった。そのため「ゲルググ」は、開発が戦争末期であったにも関わらず、日々の改良などを始めとする多くのバリエーションが存在するのである。さらに、ゲルググとMS-15ギャン双方の長所を融合させたMS-17ガルバリティの開発計画などもあり、その機体のための部品を活用してゲルググを生産した工廠もあった。つまり、生産地点や配備された時期などによって、同一の機体でも、頭部形状やハッチの開閉機構などに数種の仕様が存在することになったのである。例えば、終戦に前後する期間に複数が確認されているJG型や、後のテラース戦争において多數運用されていたP型などのよう、純然たる派生型とは違って「仕様が異なる改良系機」が存在するのである。そのため、先行量産型の生産に前後して、いわゆるノーマル仕様と呼ばれるA型は83機が生産されたとする資料は存在するものの、厳密な意味で「MS-14A」と呼べる機体の仕様は特定しにくいとされている。「ソロモンの面影」として名を馳せたアナベル・ガートー大尉（当時）が使用していた機体もA型とされているが、記録映像から「S型」とする説や、未確認情報として「H型」なる高性能種の存在を指摘するものもある。いずれにせよ、彼がゲルググを隠機とした可能性がある期間は、ソロモンの陥落直後（12月24日）からア・バオア・クー改防戦（同月31日）までであることもあって、仕様の特定は難しい。ちなみに、彼がソロモン撤退時に殴り（しんがり）を務めた際の戦闘は、公的にはリック・ドムだとされているが、試作型のビーム・ライフルを装備したゲルググであったとする資料も存在する。しかもその機体は、ドズル中将自らがガートーのために調達したものであったというのだが、詳細は不明である。



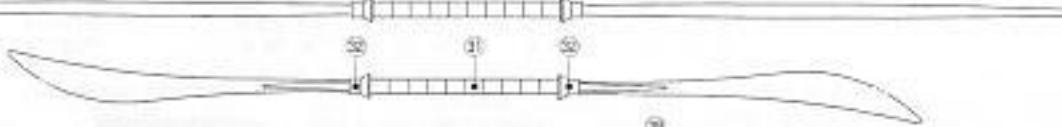
MS-14A GELGOOG



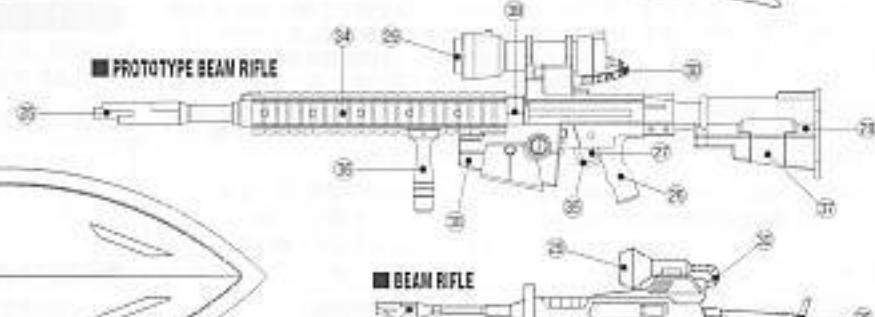
① モノアイカメラ	⑨ マルチブルダクト	⑩ エクストラポート	⑪ マズル	⑯ シールド
② ハイブリッドセンサー	⑩ エルボージョイント	⑫ メインスラスター	⑫ グリップ	⑭ ヒートシンク
③ ショルダージョイントアーマー	⑪ マニピュレーター	⑬ サブスラスター	⑬ トリガー	⑮ トリガーガード
④ ショルダーアーマー	⑫ インテーク/ノズル	⑭ バックパネル	⑭ ストック	⑯ フォアグリップ
⑤ 熱核ジェットユニット	⑮ ダクト	⑮ レッグスカートアーマー	⑮ ターゲットセンサー	⑰ コンデンサユニット
⑥ スカートアーマー	⑯ エルボージョイントアーマー	⑯ ニージョイントアーマー	⑯ テーティルワーザフライヤー	⑯ キャビンターアクセラレーター
⑦ コクピットハッチ	⑰ メンテナンスハッチ	⑰ ニージョイント	⑰ ビーム・ナギナタ	⑰ フォーカスユニット
⑧ デタッチャブルホルダー	⑱ オプションポート	⑳ フットジョイントアーマー	⑳ マルチビームジェネレーター	⑳ ビジョンスリット

注) MS-14Aは、一年戦争末期にア・バオア・クーやグラナダの工廠で多数生産された機体だが、Aタイプに分類される機体であっても、時期によってS型やC型の部材が採用されているなどの仕様違いが存在する。これは機能的なアップデートが頻繁に繰り返されていた証左であるとも言える。

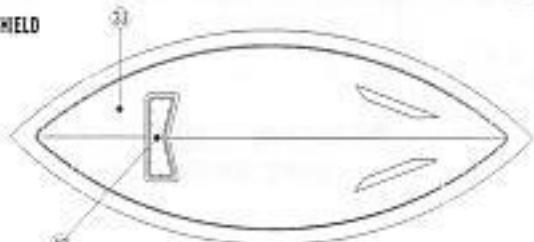
■ BEAM NAGINATA



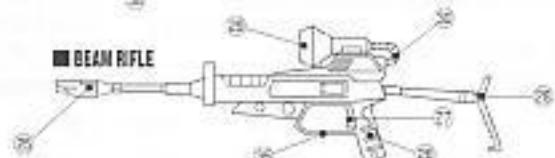
■ PROTOTYPE BEAM RIFLE



■ SHIELD



■ BEAM RIFLE



Parts Name

Parts List

Head Unit

Arm & Leg Unit

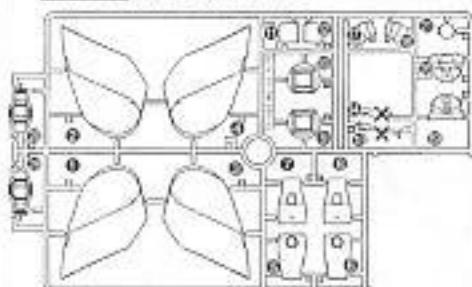
Body Unit

Weapons

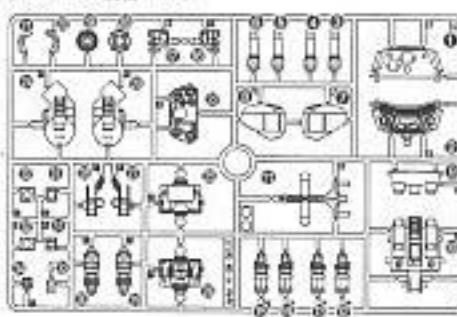
Final Assembly

Parts List

A/Parts (Styrofoam: PS)



B/Parts (Styrofoam: PS)



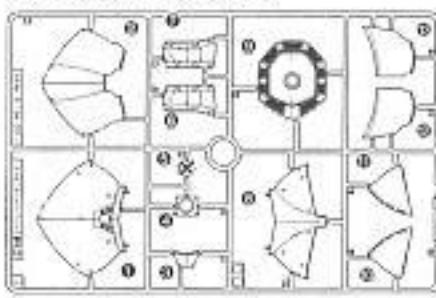
C/Parts (×2) (Styrofoam: PS)



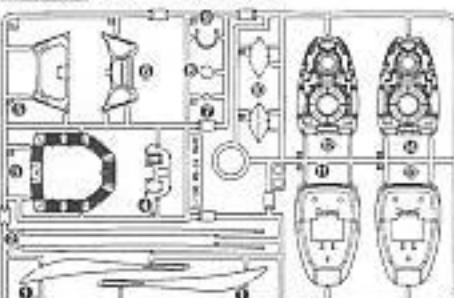
D/Parts (×2) (Styrofoam: PS)



E/Parts (Styrofoam: PS)



F/Parts (Styrofoam: PS)



G/Parts (Styrofoam: PS)



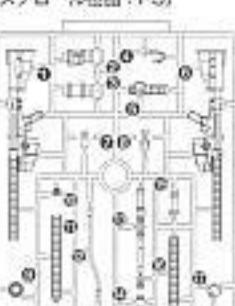
H/Parts (Styrofoam: PS) I/Parts (Styrofoam: PS)



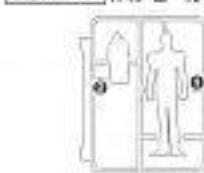
J/Parts (Styrofoam: PS)



M/Parts (Styrofoam: PS)



Q2/Parts (Styrofoam: PS)



PC-111 (Polyethylene: PE)



PC-111 (Polyethylene: PE)



カラーシール 1枚
マーキングシール 1枚
カンドムテカール 1枚
メッシュパイプ 2本
(ポリエチレンレフターレート PETP)
ラバーパーツ 1個
(合成ゴム:TPE)

（お買上げのお客様へ）部品をこわしたり、なくした時は、「部品注文カード」に必要な部品の記号／番号／数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき、封書（裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。）にて下記までお申し込みください。代金は、料金表通りです。為替証券は無記入（白紙）で同時にください。なお、部品の形状・重量で郵送料に過不足が生じるときがあります。部品発送の際に表記額を超える時は不足分を請求、表記額以下の時には残額をお返しいたします。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター
〒424-8735 静岡県清水市西久保305

TEL0543-65-5315 (料金表) ●部品代は1個の料金です。

・電話受付時間 月～金曜日
(祝日を除く) 10時～16時
・電話番号はよく確かめてお限道いないようにご注意ください。

For Japanese use only.

部品注文カード 0116408-3500

1/100SCALE MGシリーズ
MS-14A ゲルグク(アナベル・ガトー専用機)

必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された理由(○で囲む)(こわしたなくした)

・日中ご連絡可能な電話番号
()
'03.02

※コピー使用可

△ 注意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。(锐い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。)
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。
- 接着剤は、閉め切った室内では使用しないでください。中毒になる危険があります。

このキットには、接着剤は入っておりません。プラスチックモデル専用接着剤を別にお買い求めください。

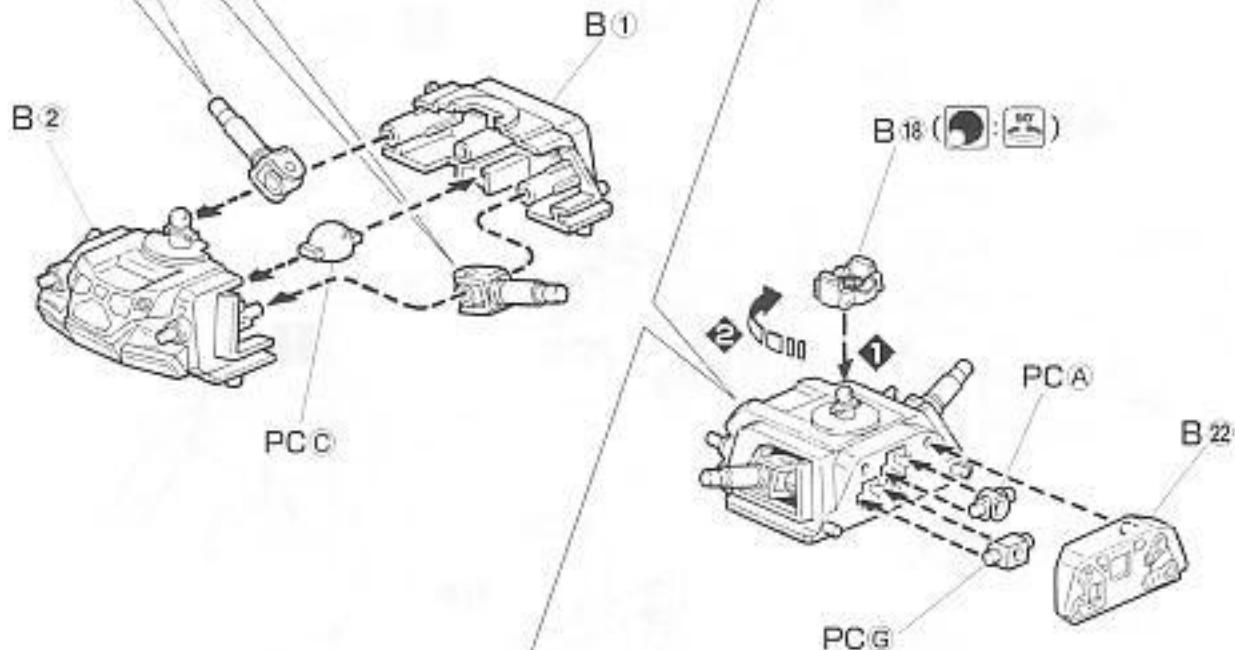
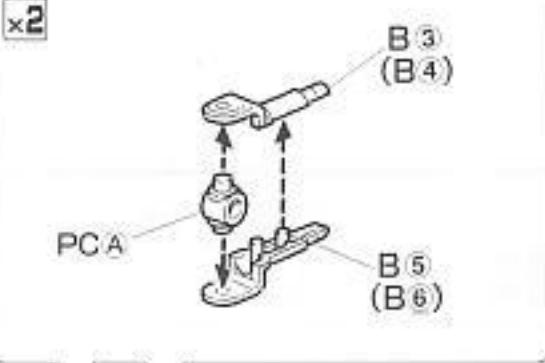
《組み立てる時の注意》

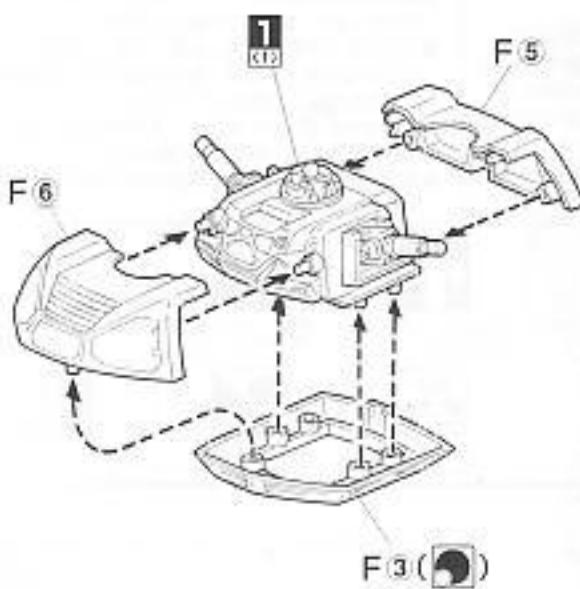
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 部品の中には、やむをえず、とかいた所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおおすすめします。

・接着をするところの様	・シールの面筋 A	・テカールの面筋 A	・反対面に取り付ける バーブ	・両面に同じバーブを 取り付けろ	・向きに注意して 取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
・切り取るところ	・部品を複数の個数 行います	・先に組み立てます	・様に組み立てます	・部品に合わせて 回転させます	・どちらかを選んで 取り付ける	・反対側も同じように 動かします

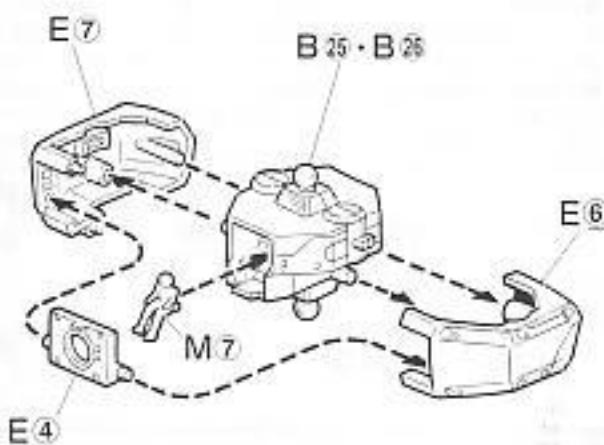
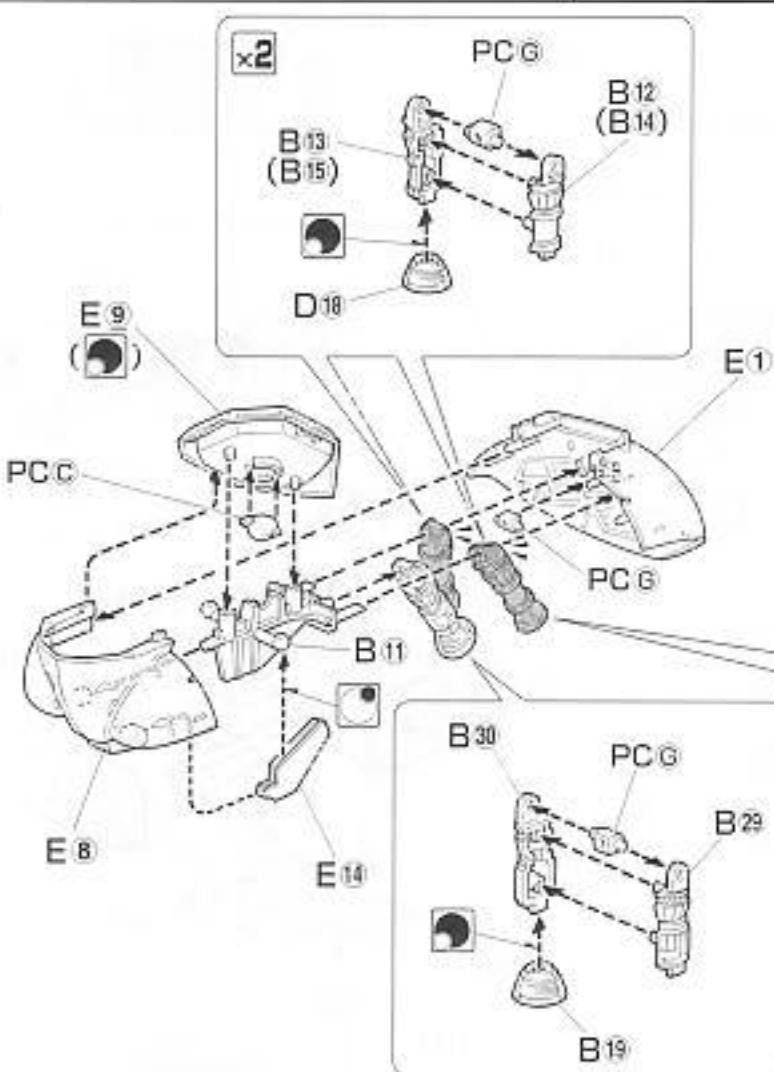
1

(1)



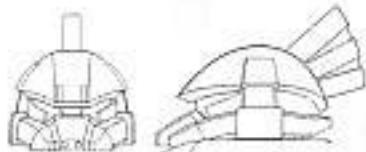
1
(2)

2

3
(1)

HEAD UNIT

MS-14の頭部は、標準的な仕様のものでも、既存の指揮官機並みの通信機能を持ち、高性能なセンサーの複合体となっている。また、ザクでは露出していた動力伝達パイプなどの各部品を内装している。



MS-14ゲルググの頭部は、基本的にザクの構造を小型化、高密度化したものである。マルチブルノズルから後頭部に至る動力パイプは最終装甲内にコンポーネントされ、耐弾性と耐久性が向上している。いわゆるノーマル型と呼ばれるA型の頭部は、YMS-14などの実験から得られたデータをもとに、内装された動力パイプ周りの冷却構造やセンサー配置、頭部への被弾率を低下させるためのモノアイスリットのクリアランスなど、多少の構造変更が施されているものもあるが、調達などの関係

から、YMS-14のエクステリアをそのまま流用している機体も存在する。特にA型以降のゲルググは、ユニットごとにスペックが異なる部材を使用しても“ゲルググとしての規格”に適合していれば充分な機能を発揮することが可能であるため、そういう機体の基本性能は指揮官機そのものとほぼ同程度であり、生産性などを考慮すれば、むしろA型の方が優れているとも言える。

BODY UNIT

ゲルググの基本構造は、連邦製のRXタイプのMSに倣い、ボディモジュールを大きく三つのブロックに分割している。これは機体の運動性を高めたためにも有効であったが、実際には、パイロットの生存性を高めるために採用された構造であった。さらにこの分割構造は、生産性や整備性の面からも歓迎された。この構造によって、ゲルググは各部位ごとに生産拠点を分散させることができとなり“工業製品”としても非常に優秀なものとなつたのである。さらに、各部位が独立していくながら全体が有機的に運動できる設計であったため、各パーツごとの改修や改造なども、既存の機体に比べて飛躍的に簡便となつたのである。

ゲルググは、基本的な規格さえ適合すれば、その部品単位で段階的にアインティファイすることが可能であった。つまり、ザクの改修や追加武装のように、その度ごとに移動ソフトのアップデートやパワーサプライの微調整などを行う必要がなかったのだ。ゲルググは非常にシステムマッチング設計思想に基づいて開発されていた。最近な例で言えば、レンズや照明装置と完璧にリンクする一眼レフカメラなどに比定できるだろう。言わば“ゲルググ”という工業製品は、装甲一枚に至るまで徹底的にデータリンクしたコンポーネントライスなのである。だからこそ、戦争末期の一月にも満たない期間で、機体毎に異なる実戦データのフィードバックを蓄積する事が可能となり、多種の派生型やマイナーチェンジが生み出されることとなつたのである。その基本構造は、JG型やF型を始め、後に開発される多数の機体にも継承されることとなる。

ARM UNIT

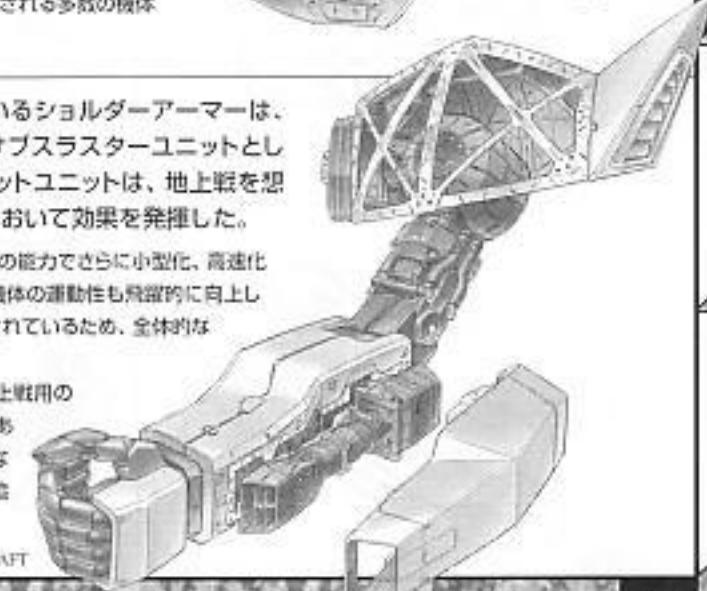
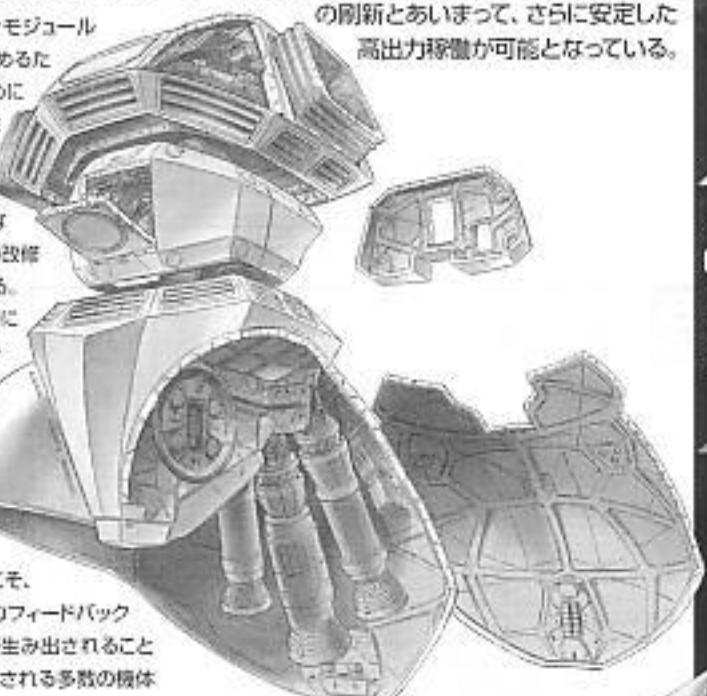
肩部に装備されているショルダーアーマーは、肩関節の保護と同時にサブラストアユニットとしても機能する。また、腕部に装備されている熱核ジェットユニットは、地上戦を想定した補助推進ユニットであり、コロニー内戦闘などにおいて効果を発揮した。

ゲルググの各関節部分に採用される駆動装置は、ザクと同程度の能力でさらに小型化、高速化されている。機体そのもののレスポンスが改善されているため、機体の運動性も飛躍的に向上している。ただし、ビーム兵器へのエネルギー供給系統なども内蔵されているため、全般的なボリュームはほとんど変化していない。

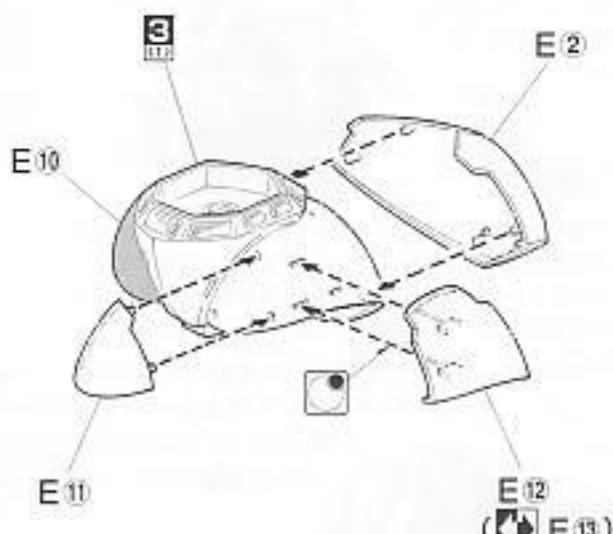
また、腕部に装備される熱核ジェットユニットは、基本的には地上戦用の装備であり、コロニーなど大気が存在する低重量領域では有効ではあったが、空間戦闘においてはデッドウェイトであることに変わりではなく、宇宙空間での運用が確定している機体に対しては、補助的な追加武装や防衛装備などが施されることが多かったようだ。



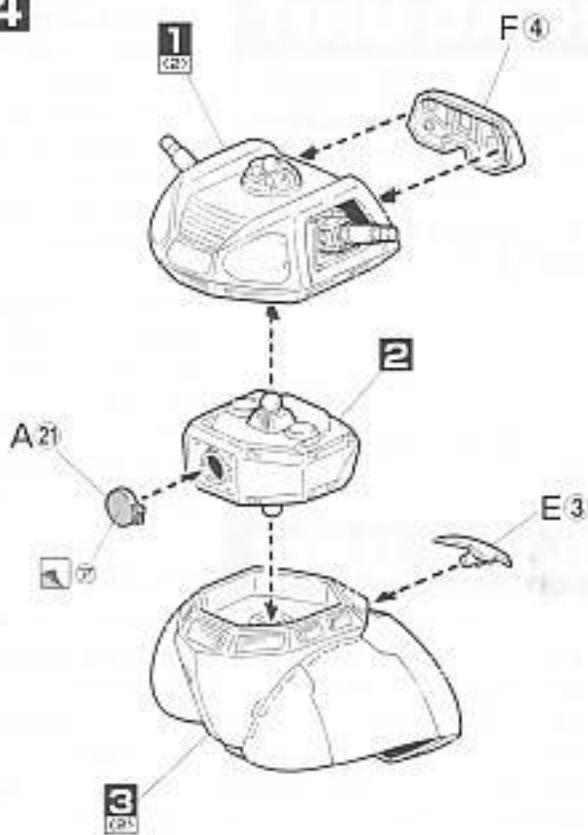
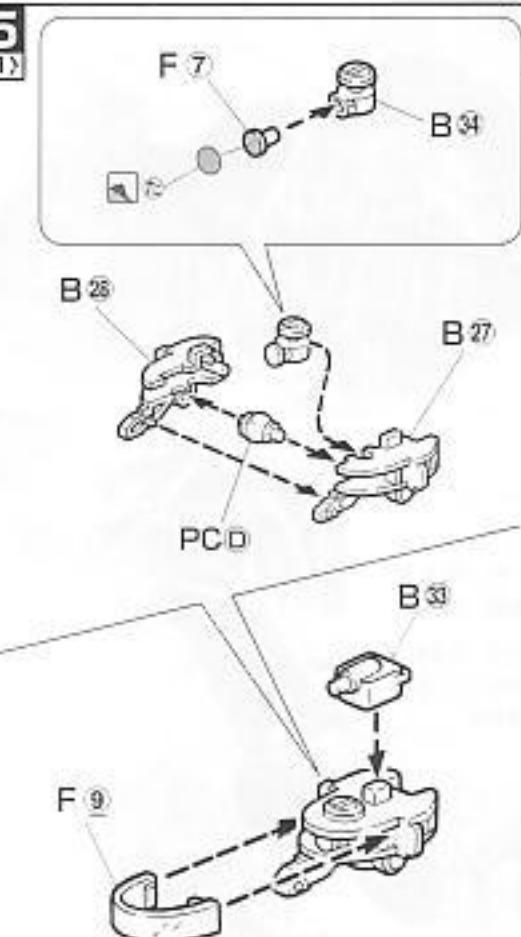
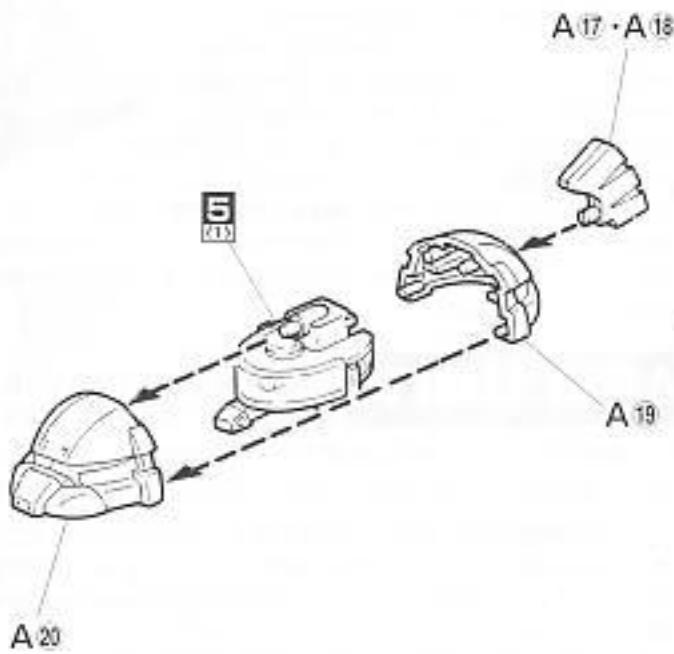
の刷新とあいまって、さらに安定した高出力稼働が可能となっている。



Parts Name
Parts List
Head Unit
Arm & Leg Unit
Body Unit
Weapons
Final Assemble

3
(2)

4

5
(1)5
(2)

LEG UNIT

ザク06R系の直系ともいえるゲルググは、R型と同様、脚部全体を巨大なバーニアスラスターユニットとする考え方に基づいて設計されている。量産型であるA型も同様だが、YMS-14の実戦データを基として、さらなる高機動化が計られている。

ゲルググの脚部ユニットは、公国兵装産業と軍部が大団結してこの機体を造り上げたことを象徴する部位である。ゲルググが脚部に搭載するバーニアスラスターユニットは、当初、MS-11用に開発されていたゼオニック社製のものがそのまま流用される予定だったが、実際にはその開発は頓挫していた。そのユニットはOGF-2型、いわゆる高機動型ザクに使用され、実証データを収集してから、機体の完成までの間に改良が加えられることになっていたのだが、OGF-2型そのものが非常にビーキーな機体であったため、リック・トムが採用されたことは周知の事実である。新説機のスラスター総推力の向上のため、ゲルググの腰部スカートアーマーにはOGF系のジミマド社製バーニアのノウハウの採用が決定し、バーニア関連の部材は改めて共同開発されることになった。本来は競合企業であるゼオニック社やジミマド社などが独自に保有する技術をふんだんに導入したゲルググは、事実上、公国軍のMS開発のノウハウの全てを総動員して開発された機体なのである（ちなみに、ガルバリティ開発決定の経緯も同様であるとされる）。

高性能化と生産性の両立を目指したYMS-14の開発は難航したが、その甲斐あって、ゲルググの基本性能と量産性は確実のものとなった。そして、日系ザクをも上回る能力の脚部ユニットが、それまでとは比較にならないほど容易に調達することが可能となった。MSの脚部構造は、この機体でひとつの頂点を極めたのであった。

WEAPONS

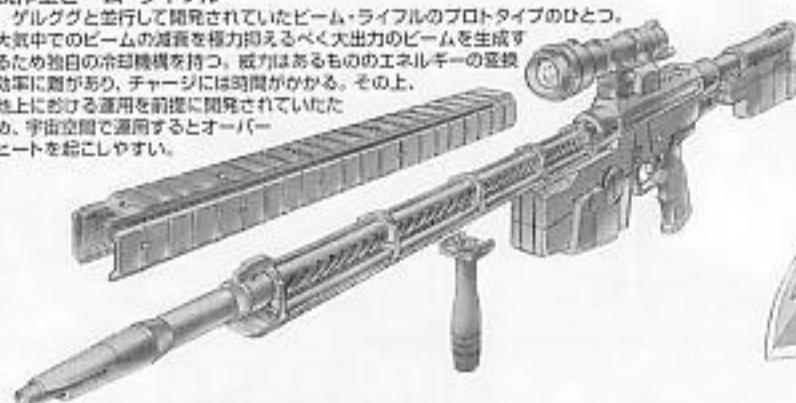
ビーム・ナギナタ

ゲルググ専用のビーム・サーベルユニット。両端からのビーム生成が可能で、鎌刀（ハルバート）状のビームを形成することもできるほか、標準的なビーム・サーベルとして使用することも可能。



試作型ビーム・ライフル

ゲルググと並行して開発されていたビーム・ライフルのプロトタイプのひとつ。大気中でのビームの減衰を极力抑えるべく大出力のビームを生成するため独自の冷却機構を持つ。威力はあるもののエネルギーの変換効率に難があり、チャージには時間がかかる。その上、地上における運用を前提に開発されていたため、宇宙空間で運用するとオーバーヒートを起こしやすい。



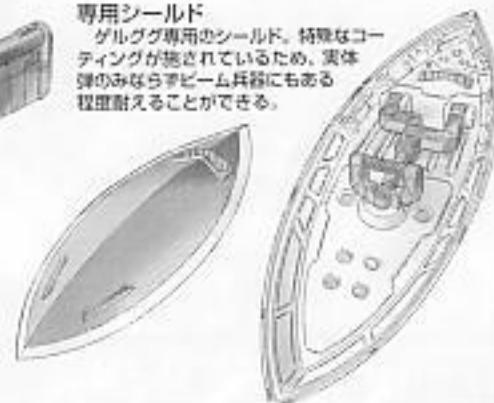
ビーム・ライフル

公国軍が初めて量産に成功したMS用のビーム・ライフル。ガンダムが搭載するものに匹敵する威力を持ち、生産性はむしろ上回っている。



専用シールド

ゲルググ専用のシールド。特殊なコーティングが施されているため、实体弾のみならずビーム兵器にもある程度耐えることができる。



ANAVEL GATO

アナベル・ガトー

一年戦争時、ドズル・ザビ麾下の宇宙攻撃車所属の大尉（当時）。ソロモン海を拠点とする302哨戒中隊の指揮官でもあった。ソロモン陥落の際、撤退の段を務め、多数の連邦艦艇およびMSを撃破したことから「ソロモンの惡魔」と恐れられ、その兇神のごとき戦いぶりは後年、連邦軍士官学校の現代戦史の教本に載るほどであった。戦後、デラーズ・フリートに参画し少佐に昇進。そして、0083年の「星の制作戦」においてガンダム試作2号機サイサリスを強奪および運用し、薄氷を踏むかのような作戦を成功に導いて連邦軍に甚大な損害を与える。作戦の最終段階においては、アクシズより受領したMAノイエ・ジールを駆り、2号機強奪以来因縁浅からぬコウ・ウラキ中尉のガンダム試作3号機テンドロビウムと死闘を繰り広げる。その後、今度はデラーズ艦隊残党のアクシズへの脱出の船を務め、数隻の連邦艦艇を撃破の後、サラミス改級を連れとすべくブリッジに突撃。宇宙に散った。



FIGHT'S ON

Documentary Photographs

NIGHTMARE OF SOLOMON



A NEW STRENGTH

「両手はシャアよりも結果を形にできる男だと信じている」「ドズルの言葉は重く、そして何よりの手助けだった。『閣下の命念を請ります!』ガトーは新聞機のコクピットに座し、機体の頭部を抜かめながら緊急出口を出ると、廊の外壁に沿って前方に走れていった。それはMSテッキには進入できないほど大きかったため、廊側に括り付けられていた。また此作品であるそれは、これまでに彼が持ってきたどんな武器よりも強大な力を秘めているという。その威力は戦闘の生死に勝るとも劣らず、MSが走ることで戦局を覆すのである。その光輝は無限の力を誇るとも劣らず、MSが走ることで敵を打ち滅ぼすだろう。などガトーは、連邦がソロモンに放った光と、その走る光から彼を狂って躍ついた状態のことを思い出した。『ケリー、私は逝してゆかぬ!』ガトーは自らを誓い立たせ、ビーム・ライフルのトリガーを引く絶る!」



WEAPONS



AN EVACUATION ORDER

U.C.0078年12月31日、アバオア・クーを率いる連邦軍との攻撃艇は艦橋を擱めていた。その日、桂賀日向の帰途を終えたガトーは、さらなる勝利を得るべくドロウから出発する。今までに発進口を出たガトーの目前に、あろうことか空港のジムに突進を抱えられた連邦軍の内火艦が現れ、その真先を務めるとドロウのMSテッキに突っ込んで行った。「血迷ったが、間抜けめー!」一晩して母艦の機動を確認すると、ガトーは引き落てるようになづやき。火薬の真っ只中に取って置く、「連邦の特務共がう！」彼の轟るゲルグクは、次々と現れるシムやボールめがけ充電のことく軽りかかり、立て掛けに撃破していった。その時、横合いから来るで連れ隊のようないームがゲルグクの右腕を貫いた。『くッ!』連邦は本腰を盡さるらしいのは、このように「戦意なき」偶然なのだ。もはやこの機体では戦うことができない。やむを得ずガトーは、頭を近所にあったエギュ・チーズ串いるグワデンに向かうのだが……。

AN AVAL GATO



PAINTING

*よりリアルに仕上げたいかたは、下の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

*このキットをよりリアルに塗装したいたるは、(例) GSIクレオスより発売のガンダムカラーをお使いください。

本体ブルー部の塗装色。
インディブルー(90%)
+ブラック(10%)

クツ等ダークグレー部の塗装色。
ミッドナイトブルー(100%)
+またはガンダムカラー ファントム
グレー

スカート等グリーン部の塗装色。
イエローグリーン(40%)
+グリーン(30%)
+ホワイト(20%)
+ブラック(10%)

ナギナタ等イエロー部の塗装色。
イエロー(80%)
+オレンジ(20%)
+ブラック少量
+またはガンダムカラー イエロー

脚部等グレー部の塗装色。
ニュートラルグレー(80%)
+ブラック(20%)

ビームライフルスコープ
クリアレッド部の塗装色。
クリアレッド(100%)

コクピットパッド
クリームイエロー部の塗装色。
ホワイト(80%)
+イエロー(20%)

メインカメラ
クリアピンク部の塗装色。
蛍光ピンク(100%)

FRONT VIEW



REAR VIEW



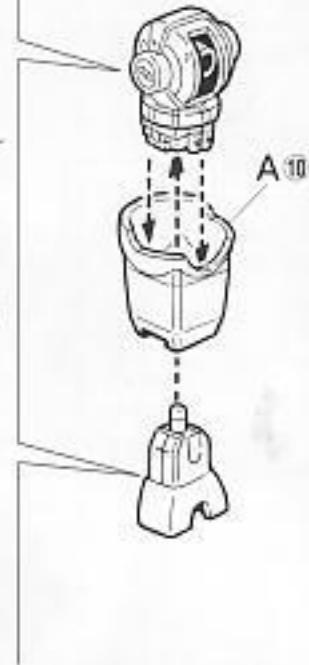
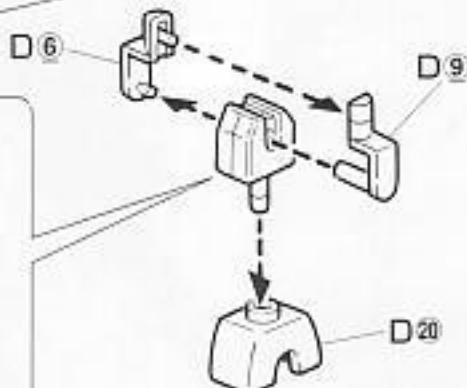
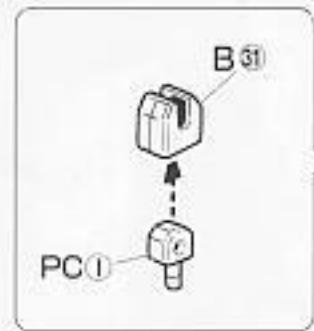
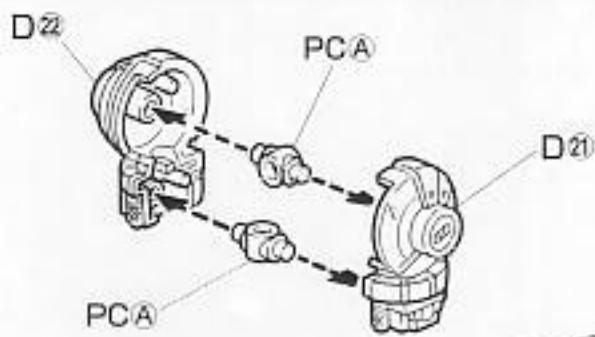
▲ビーム・ナギナタは、ビーム部分をクリアーパーツで再現。
使用法に応じた2形態の刃をセット。



▲上半身やスネ等の装甲は脱着
可能。内部メカを精密に再現。

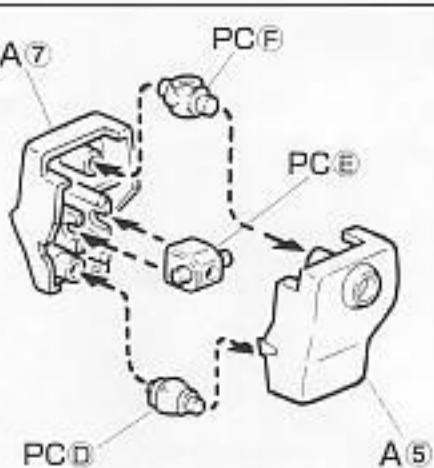
6

(1)



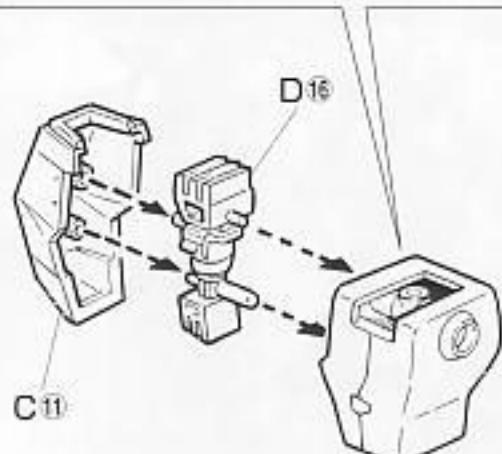
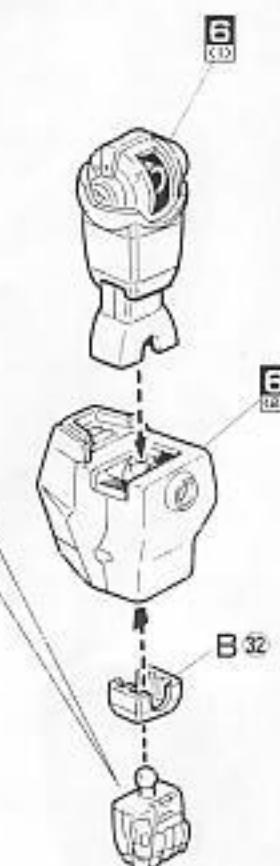
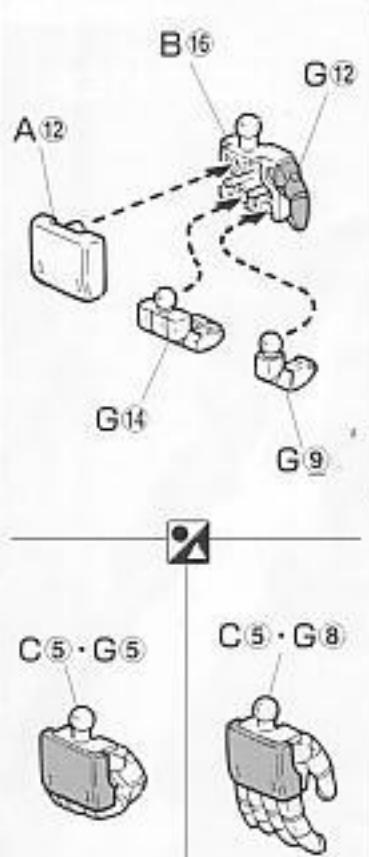
6

(2)



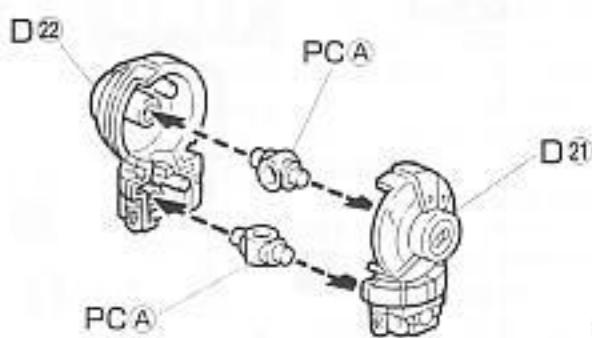
6

(3)



7

(1)



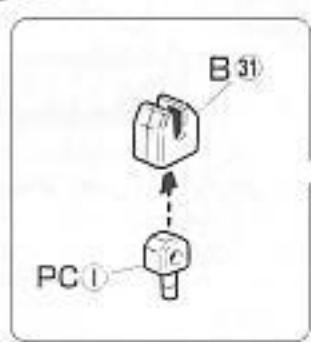
PCA

PCA

D 21

D 22

PCA

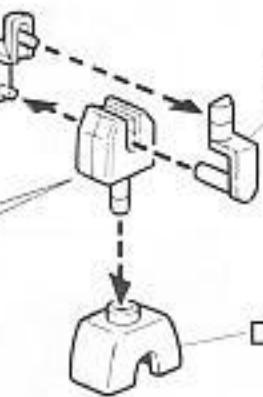


PCI

B 31

D 6

D 9



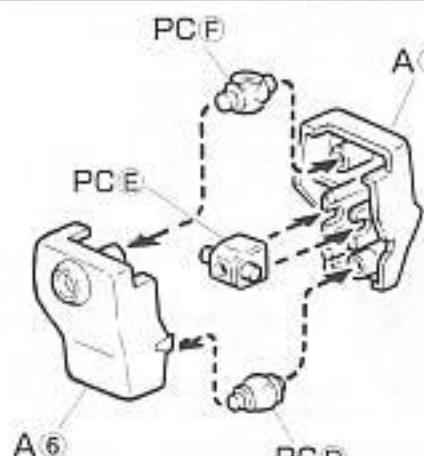
D 20

A 9



7

(2)



A 6

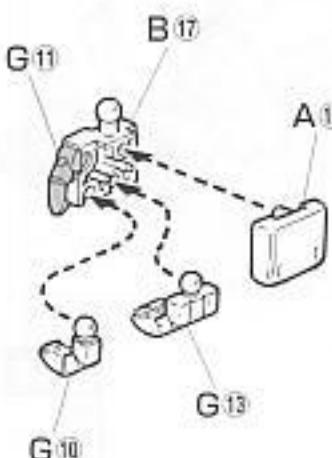
PCD

PCF

A 6

7

(3)



B 17

A 11

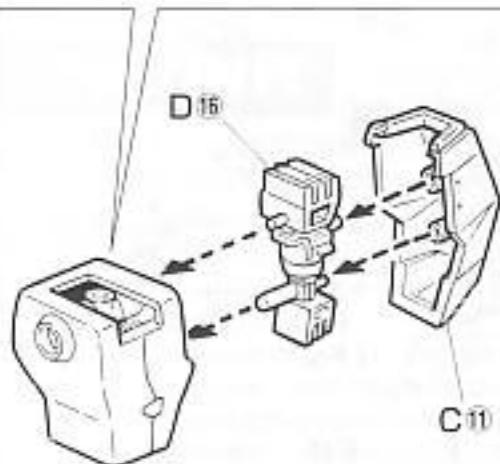
G 11

G 13

G 10

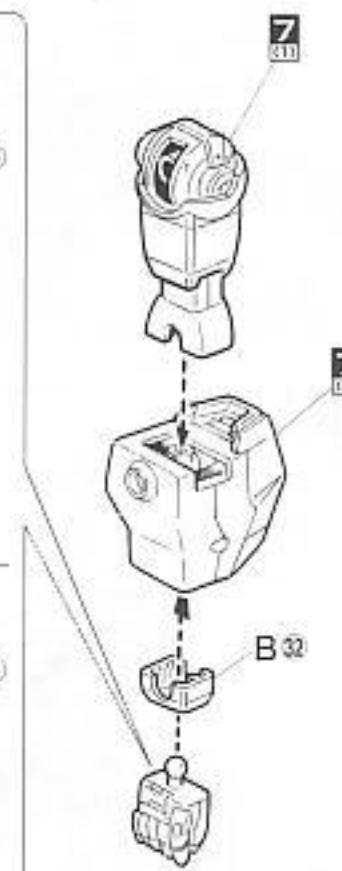
C 6 · G 7

C 6 · G 6



D 16

C 11



B 32

A 9



Parts Name

Parts List

Head Unit

Arm & Leg Unit

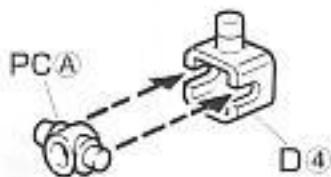
Body Unit

Weapons

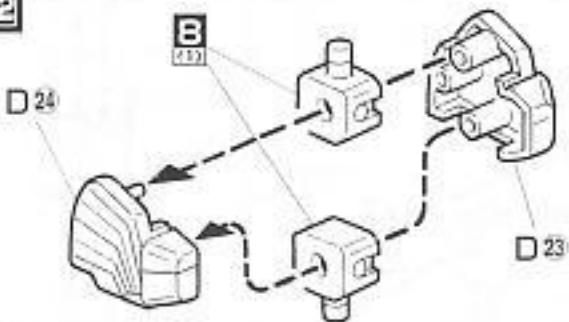
Final Assembly

8 x4

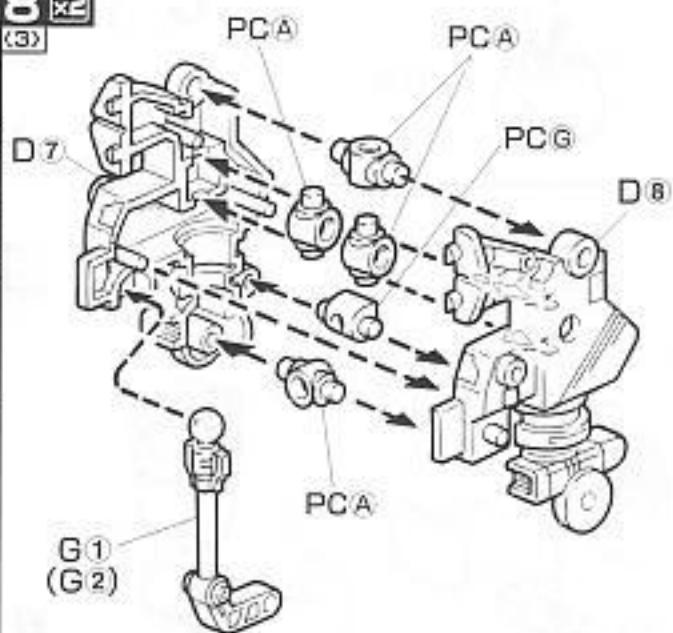
(1)

**8 x2**

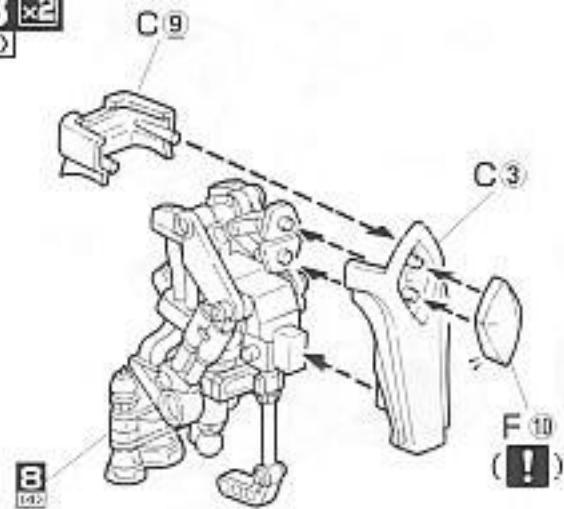
(2)

**8 x2**

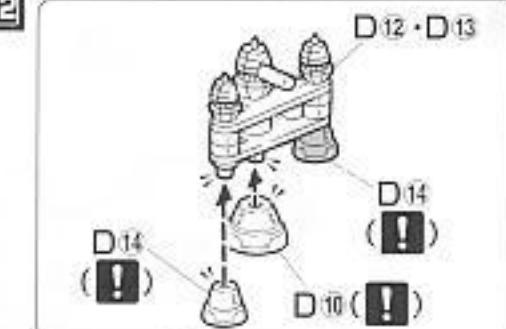
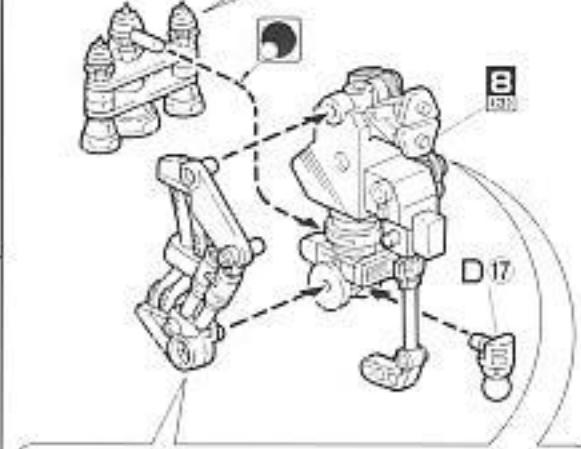
(3)

**8 x2**

(5)

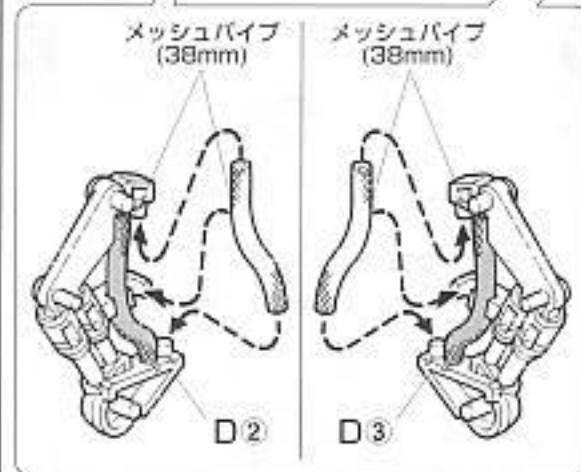
**8 x2**

(4)

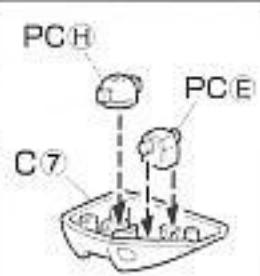
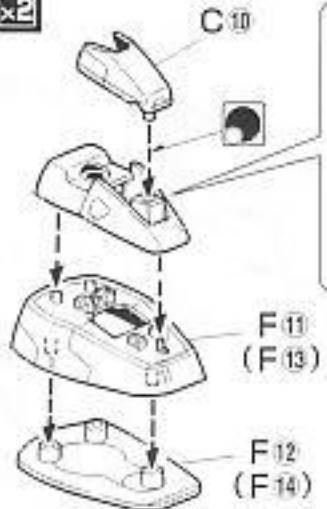
D14
(!)D10
(!)

メッシュパイプ (38mm)

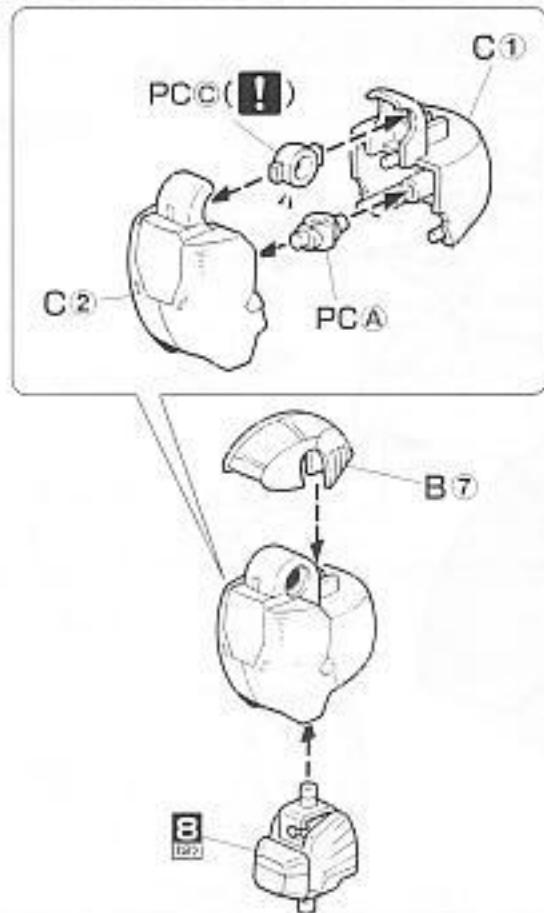
メッシュパイプ (38mm)

**8 x2**

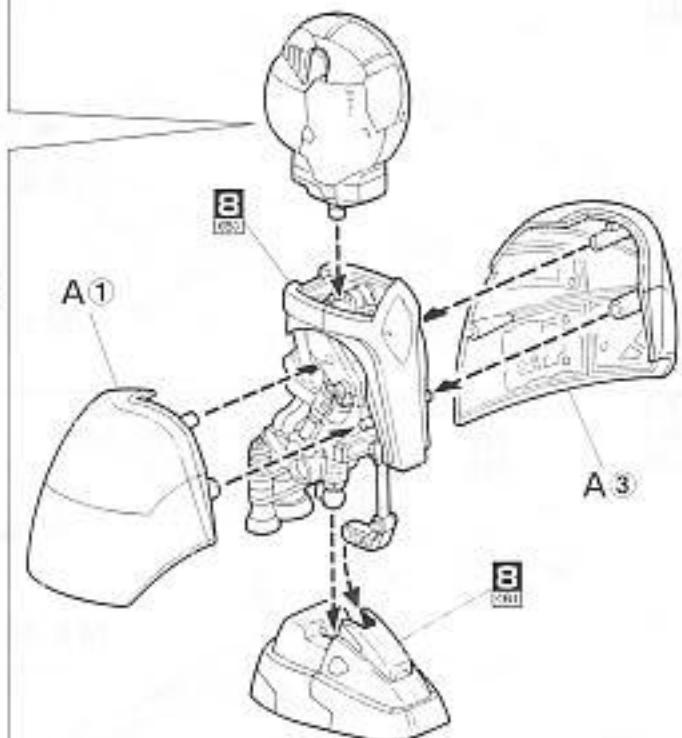
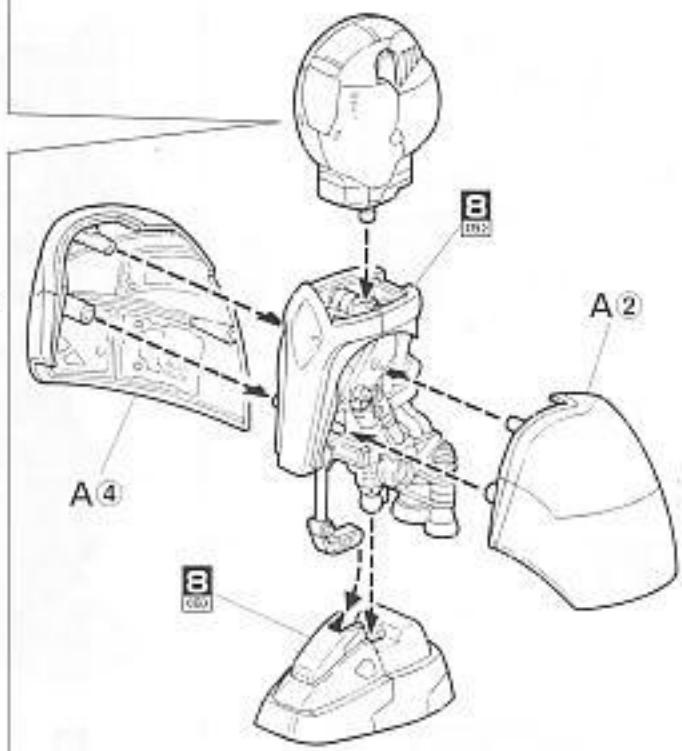
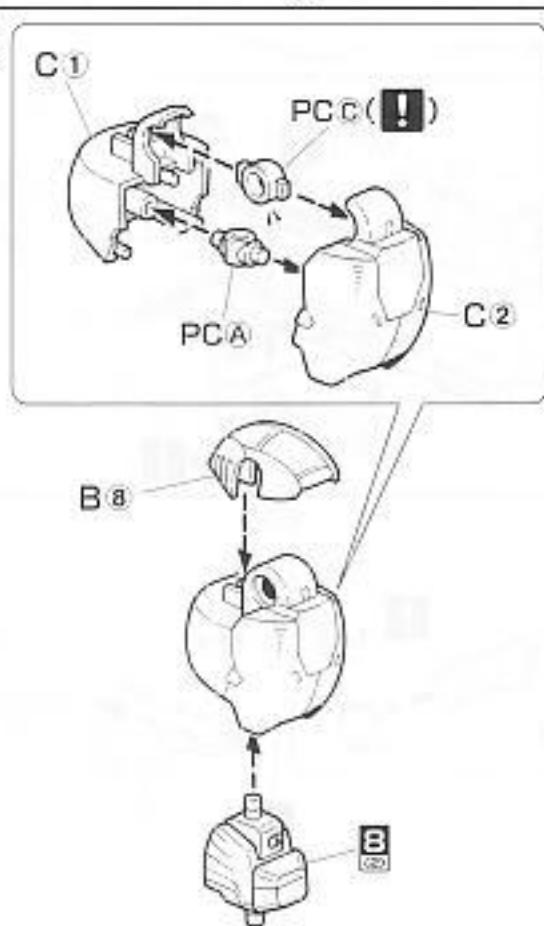
(6)

F12
(F14)

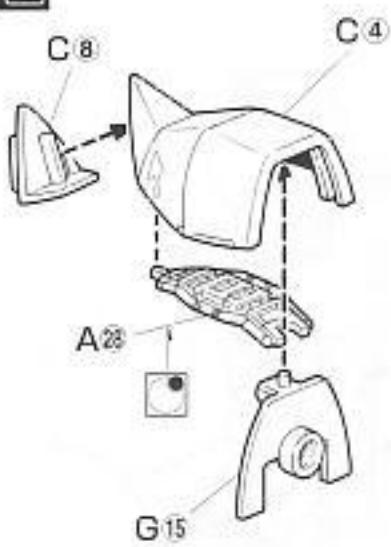
9



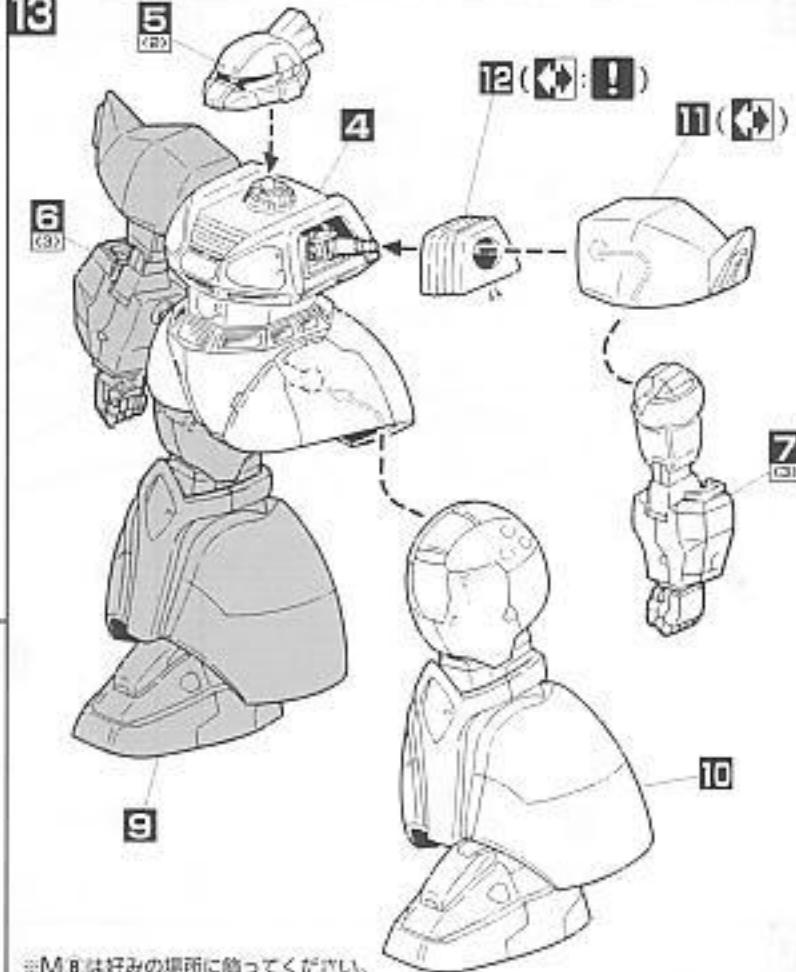
10



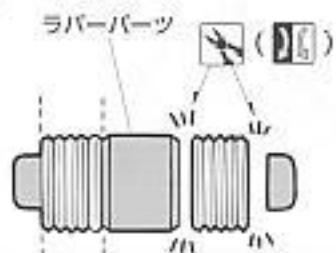
11 (2)



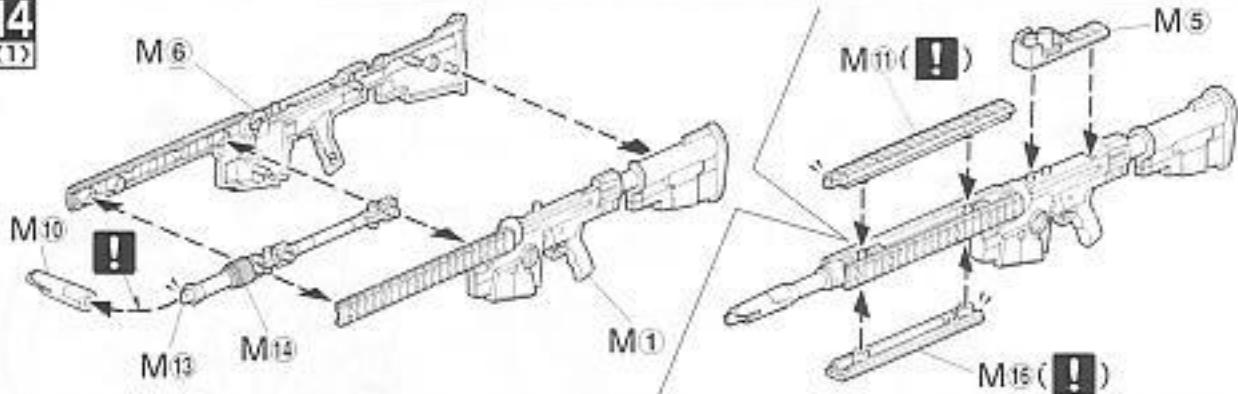
13



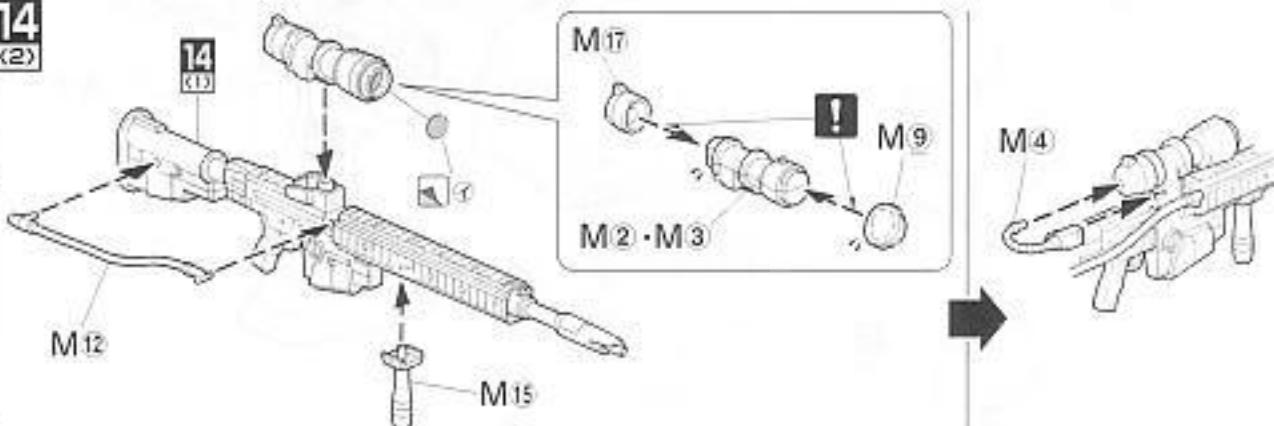
12 (2)



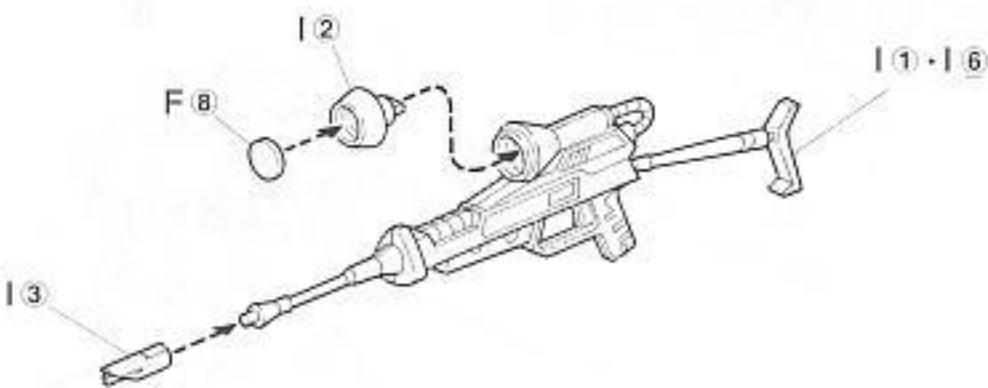
14 (1)



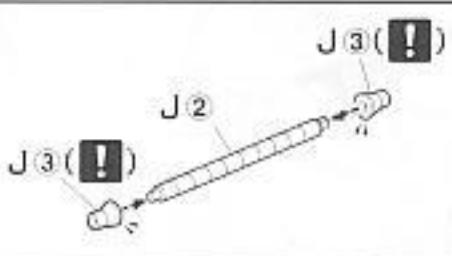
14 (2)



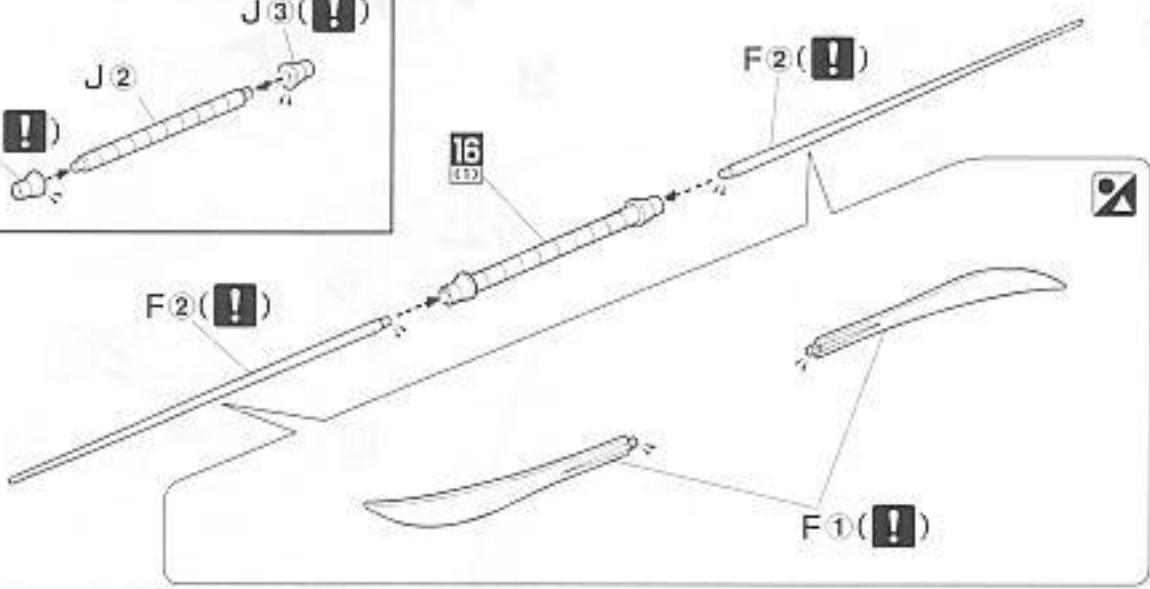
15



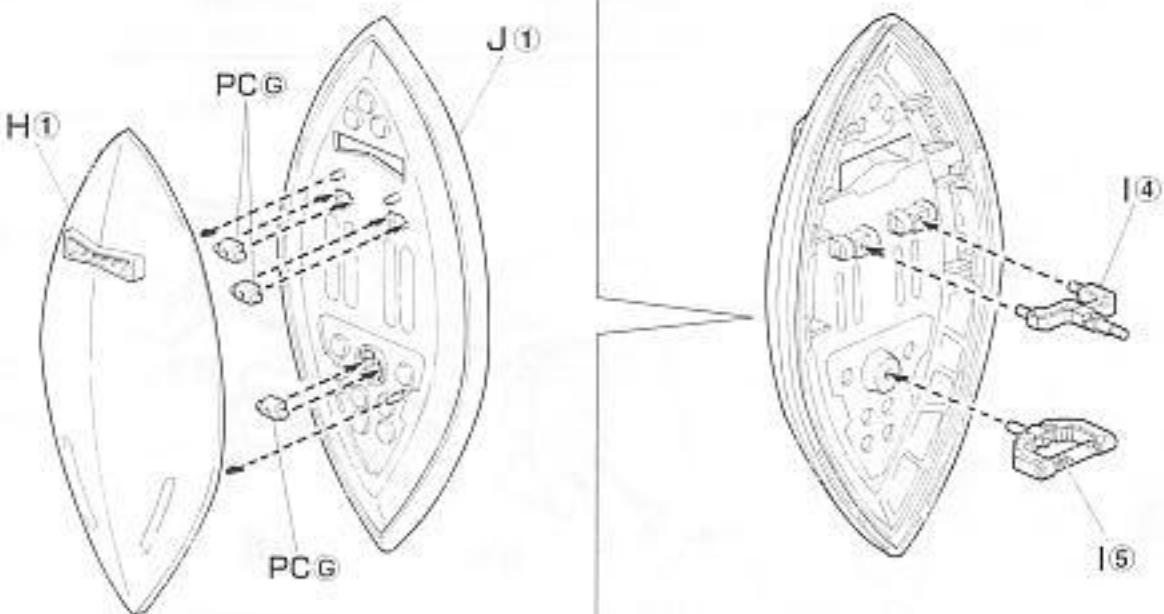
16 (1)



16 (2)



17



Parts Name

Parts List

Head Unit

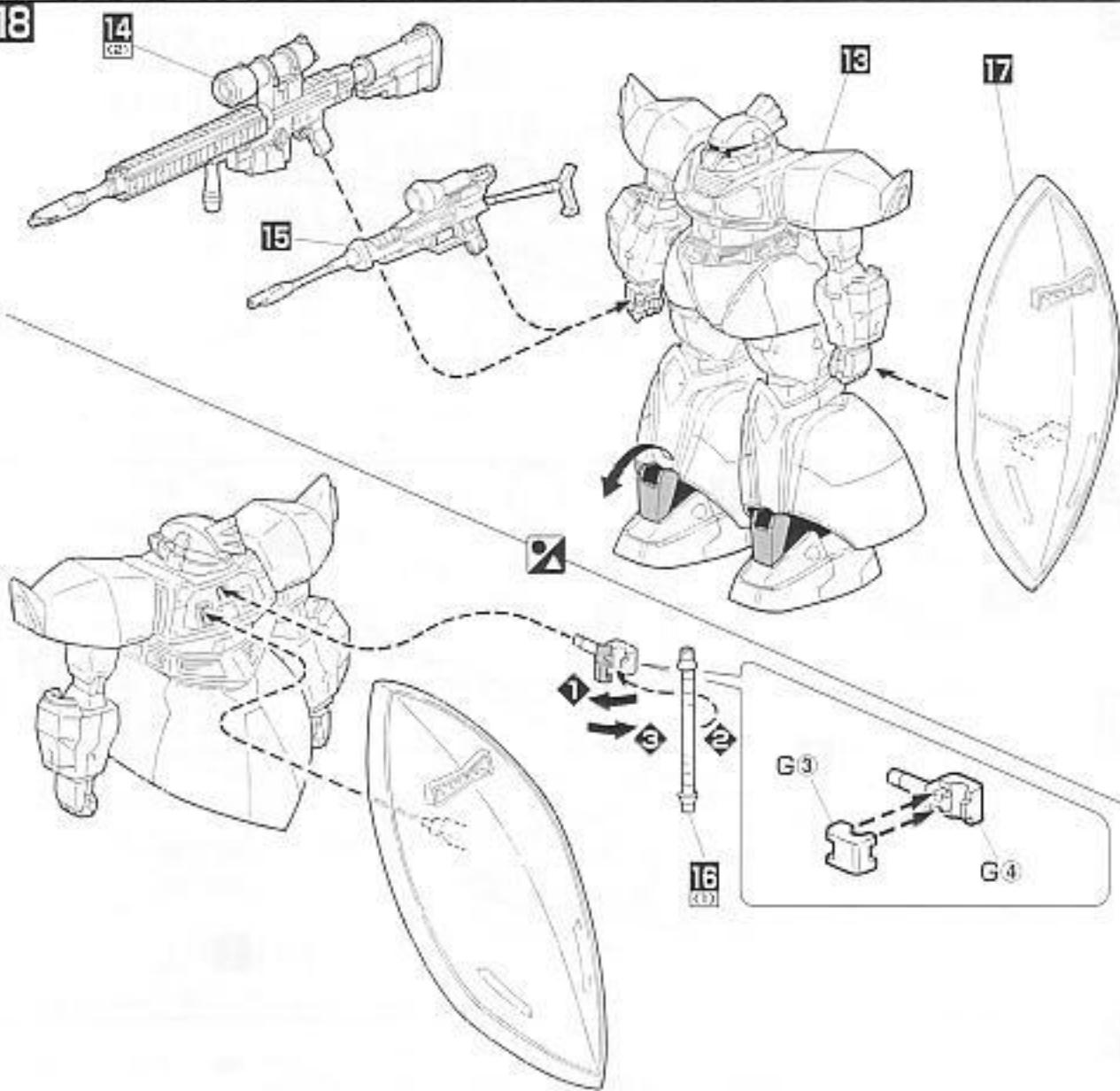
Arm & Leg Unit

Body Unit

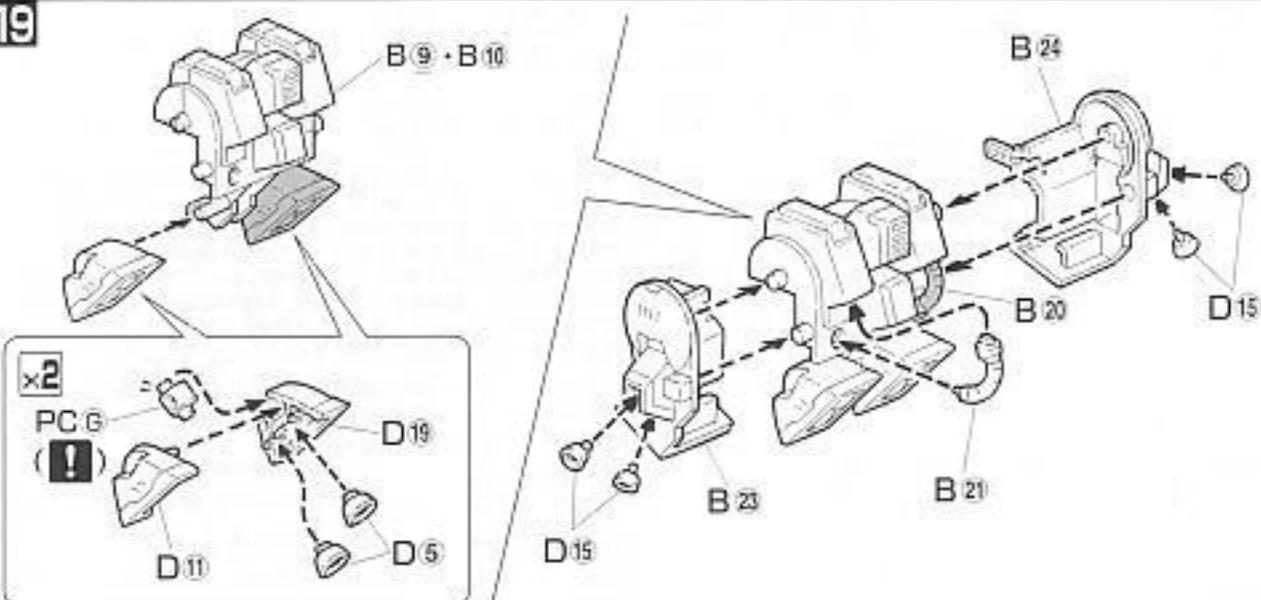
Weapons

Final Assembly

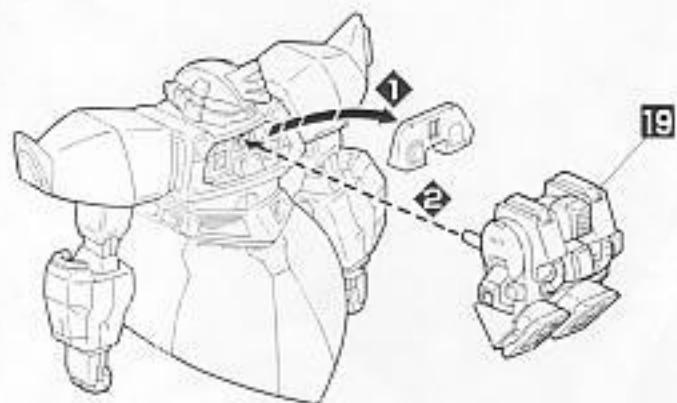
18



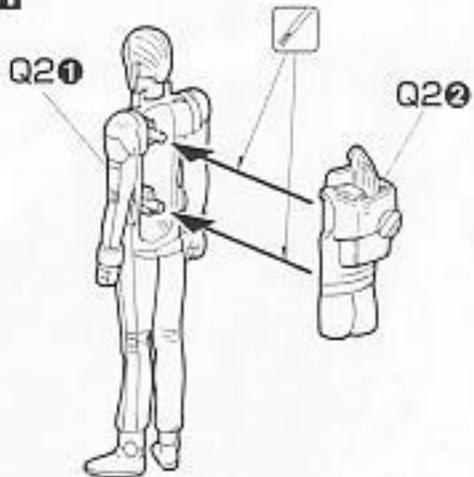
19



20



21



*グレードアップパーツ①、②はご自由に好きな所に接着してください。

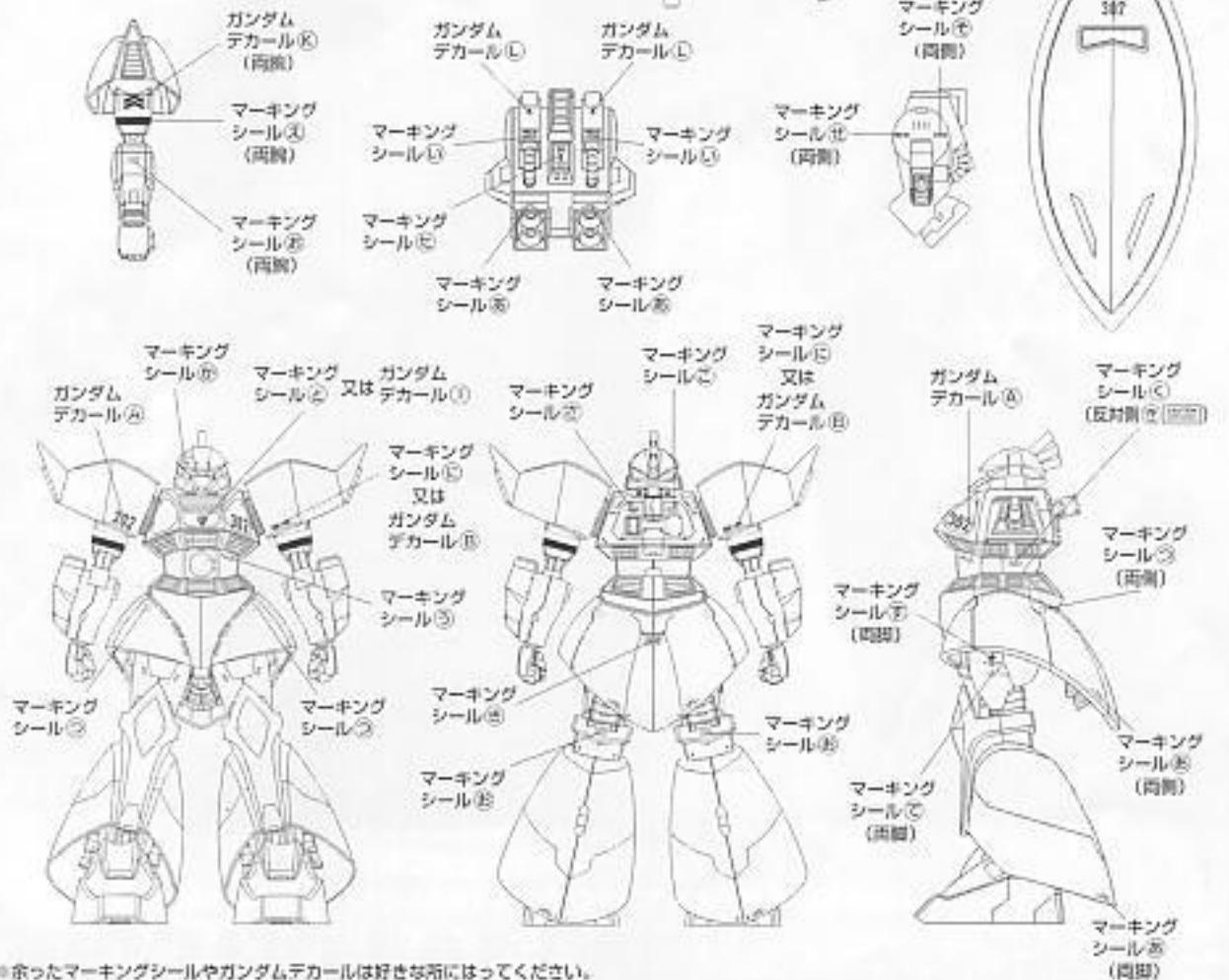
Seal

〈シール〉

下の図を見て、ガンダムデカールやシールのはる位置を確認してください。

ガンダムデカールのはりかた。

- 転写するマークを大まかに切れます。
- 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
- シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすります。



*余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所にはってください。



ジオン公国軍
汎用量産型モビルスーツ
MS-14A「ゲルググ(アナベル・ガトー専用機)」
1/100スケール
マスターグレードモデル

MS-14A GELGOOG
Scanned by Dalong.net ANABEL GATO'S CUSTOMIZE MOBILE SUIT